

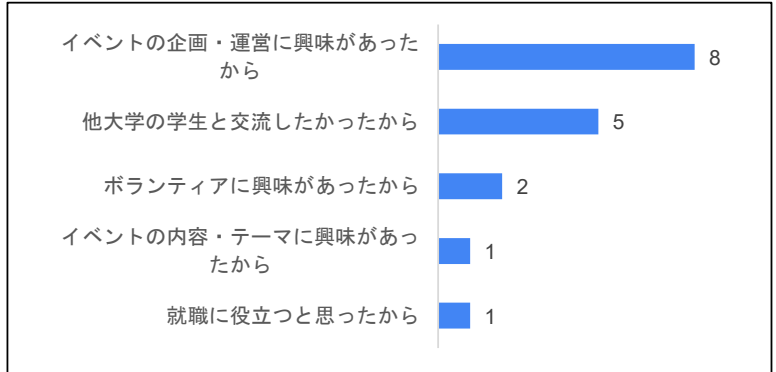
2025(令和7)年度 国際交流イベント 大阪まちあるきツアー(2026.3.16実施)
企画学生 事後アンケート

回答者: 8名 / 企画学生 8名 (回収率100.0%)

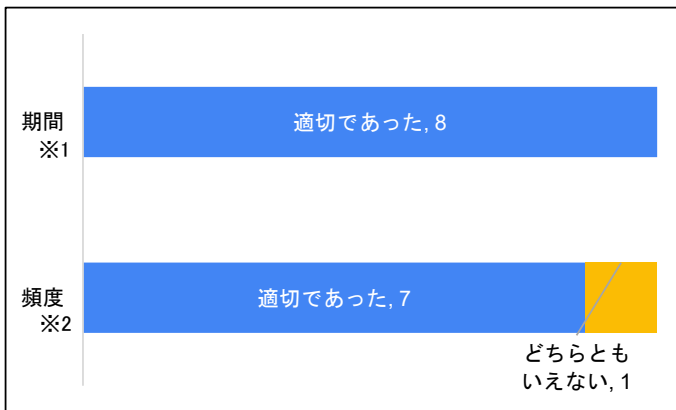
1 イベントを知ったきっかけ



2 応募動機(複数回答可)



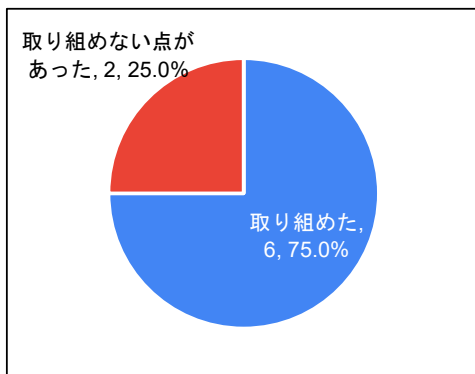
3 活動について



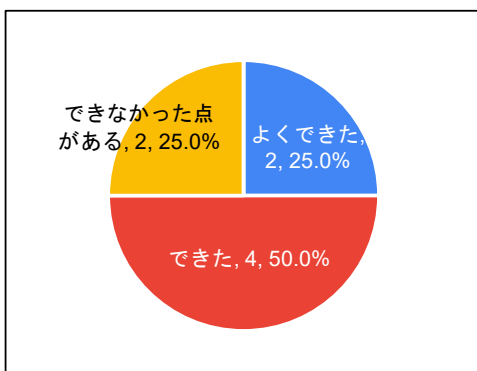
※1 11/14~3/16の約4か月間

※2 ミーティング11回、下見、そのほか自発的な活動も含む

4 主体的に取り組めたか



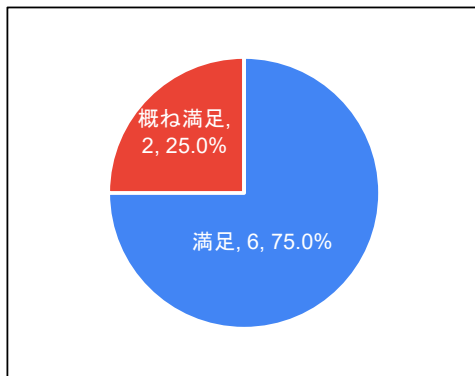
5 担当した業務への自己評価



<業務内容>

- ・リーダー班(3名)
ミーティングの設定と進行、進捗管理
- ・企画班(2名)
ツアーの計画、オリエンテーション・振り返り会企画
- ・広報班(3名)
チラシ・しおりの作成、SNS運営
- ・書記(2名)
ミーティング議事録の作成
- ・当日
受付、誘導、司会、ツアー班の引率など

6 活動全体の満足度



上記と回答した理由

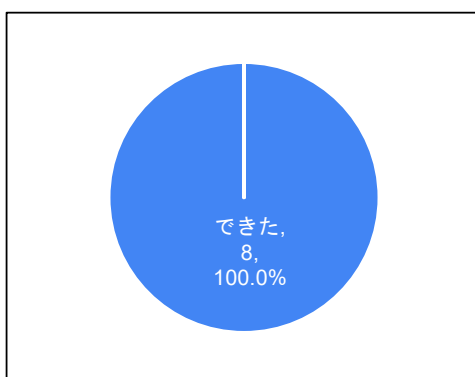
<満足>

- ・ 企画班と広報班の連携が難しく、広報班として当日のしおりを仮パターンのみでしか作業できない期間が辛かった。締切は迫っていたので大変だった。しかし、イベント当日は企画メンバー、参加者ともに笑顔で参加でき、準備期間の大変さを越える満足感が得られた。
- ・ 他大学の方と国際交流することができ、またイベントの企画から運営まで携わることができ、初めての経験ばかりだったため。
- ・ とても有意義なものだった。異なる大学や学年の方と交流できたことはとても良かった。また、ミーティングにも積極的に参加することを心掛けられた。
- ・ 今回で自分の足りないところを見つけられた。
- ・ 初めてツアーの企画・運営に携わり、不安や課題を感じる場面もあったが、企画学生の方々と積極的にコミュニケーションを取りながら取り組んだ。その結果、参加してくれた留学生から「楽しかった」と言ってもらえるツアーを実現することができた。この経験を通して、協働することの大切さと、企画を形にする達成感を学ぶことができた。
- ・ 長い準備期間では楽しい時間よりも大変なタスクに取り組む時間の方が長かった。しかし、それでも企画自体をメンバーと協力しながら進めていけた経験はとても充実していた。また、当日参加者が皆笑顔でいる姿を見て全ての時間が意味のあったものだったと実感した。

<概ね満足>

- ・ ほとんどのミーティングは参加できたが、広報班の2人に任せてしまったこともあった。ツアー自体は留学生とたくさんお話できたので良かった。
- ・ 参加者の気持ちを考えて、楽しめるツアーを企画することができた。しかし、チームミーティングで話し合うことに慣れていない人がいるので、今後は自分をもっと話を進められるようになりたい。

7 活動を通じて成長できたか



8 意見・感想

- ・ 企画班はもっと人数が必要なのではないかと感じた。なぜなら、ゼロから作り上げる企画はそもそも考えることが大変であるし、企画がないとその先が動けないから。リーダー班、広報班の人数は適切だと思う。事務局の方には、企画メンバーを粘り強く見守っていただいた。不安にさせてしまう場面もあったと思うが、とても良い経験になった。このまちあるきツアーはやりがいを感じられるものであると感じた。
- ・ 企画、運営する上で、どれぐらい前にどのように完成しておくかなど、スケジュール管理の大切さを学ぶことができた。また国際交流という場面でも、新しいコミュニティの場を広げることができ、とても楽しかった。
- ・ これまで大学の学生団体でさまざまな企画をしてきた。そのため、今回の活動では広い視野で物事を考えることを心がけた。
- ・ 大学も学年も違うのに、協力してツアーを作り上げたのがすごく楽しかった。